

**SSHACの概要/伊方SSHAC レベル3適用
について**

JASMiRT ワークショップ

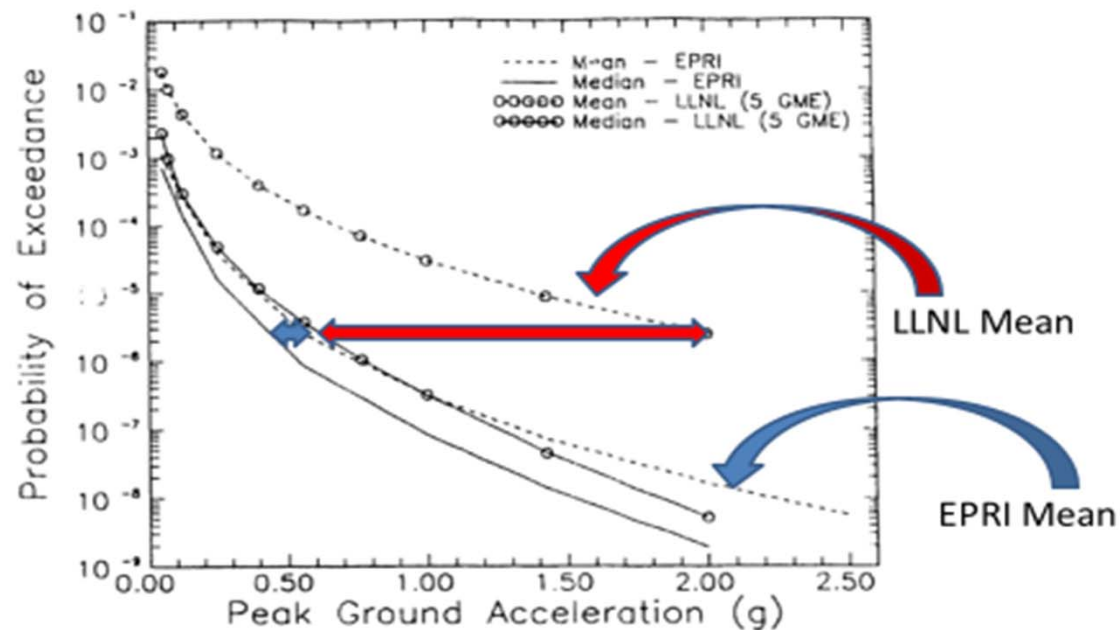
酒井俊朗

CRIEPI/RRRC

2016年10月21日

SSHAC実施の意義/必要性

- 米國中東部を対象とした、LLNL/EPRIの独立のPSHA結果に相違
- USNRC,DOE,EPRIが原因検討の委員会(SSHAC)を設置
- 両者の原因は技術的な側面ではなく、検討手順によるもの(SSHACレポート(1997))
- 検討手順を精緻に定めガイドラインとして制定((NUREG-2117(2012))



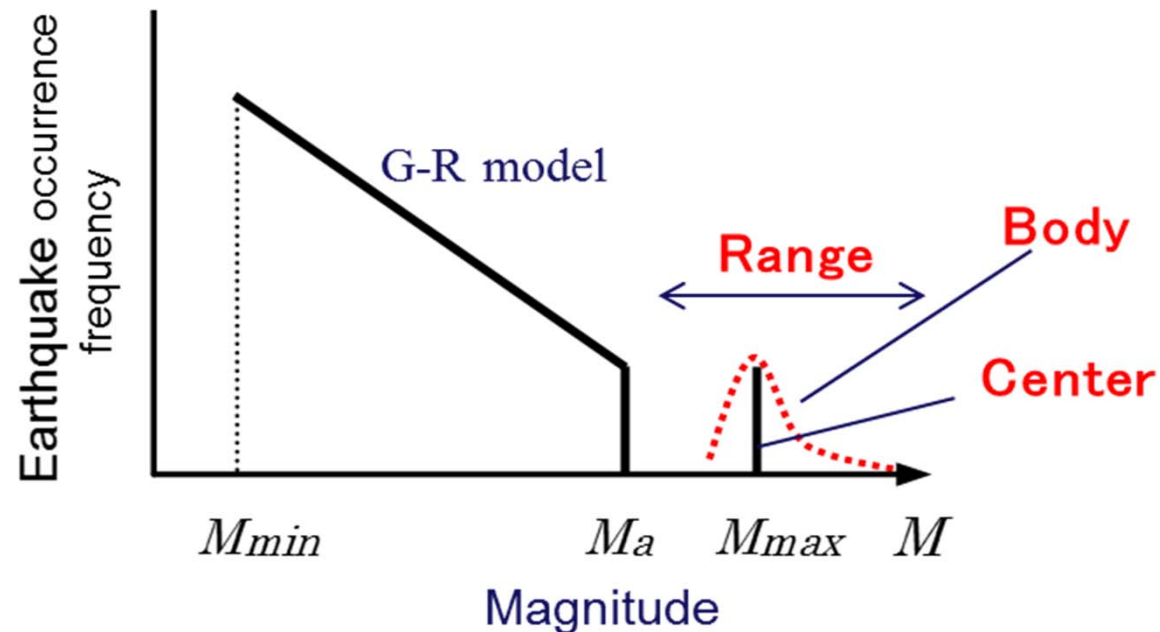
Very different results, in terms of mean hazard and associated uncertainty, from the two studies for a single NPP site

SSHACにおける重要概念

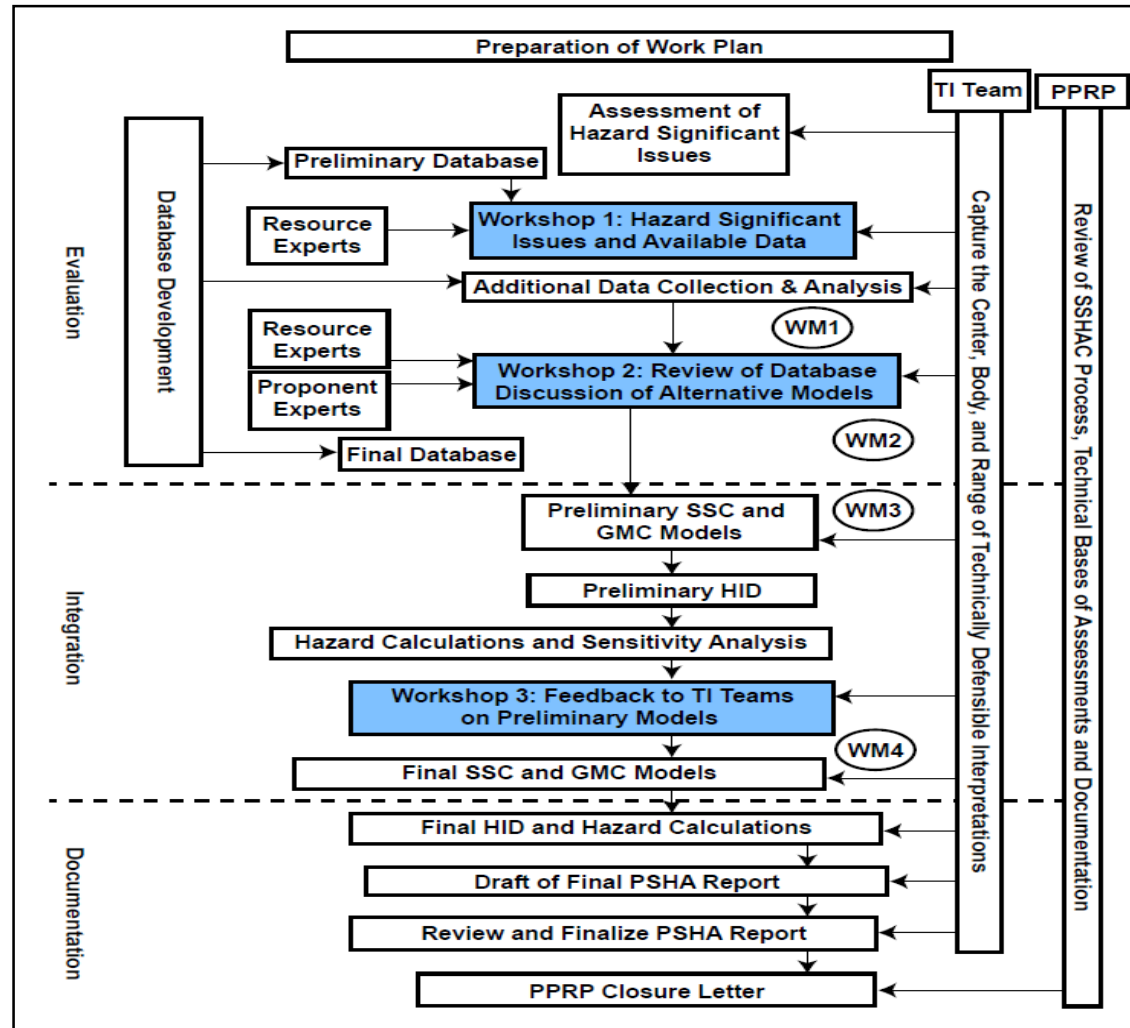
認識論的不確かさに関するコミュニティの意見分布(CBR)をいかに客観的、合理的に(TDI)再現するか？そのための検討手順を明確に規定。

CBR/TDI: Center/Body/Range Technically Defensible Interpretation

- 検討に係る関係者の役割、責任、資質の明確化
- 検討手順の明確化
- 開始時期～終了までの徹底したピアレビュー



SSHAC検討の流れ

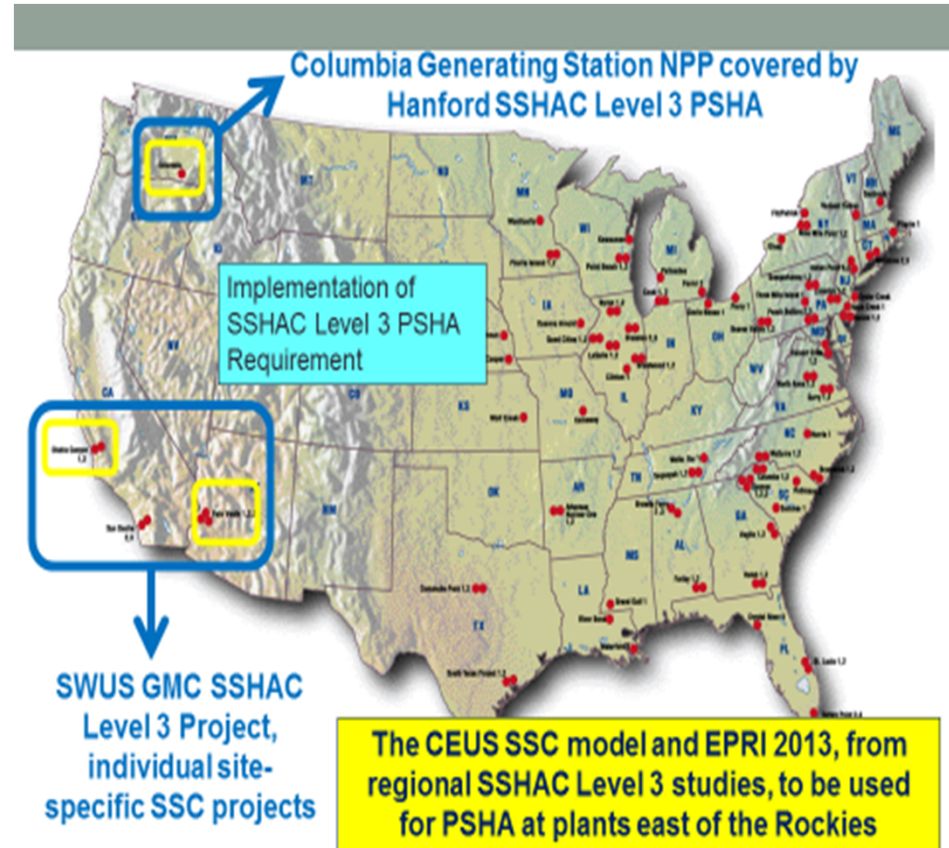
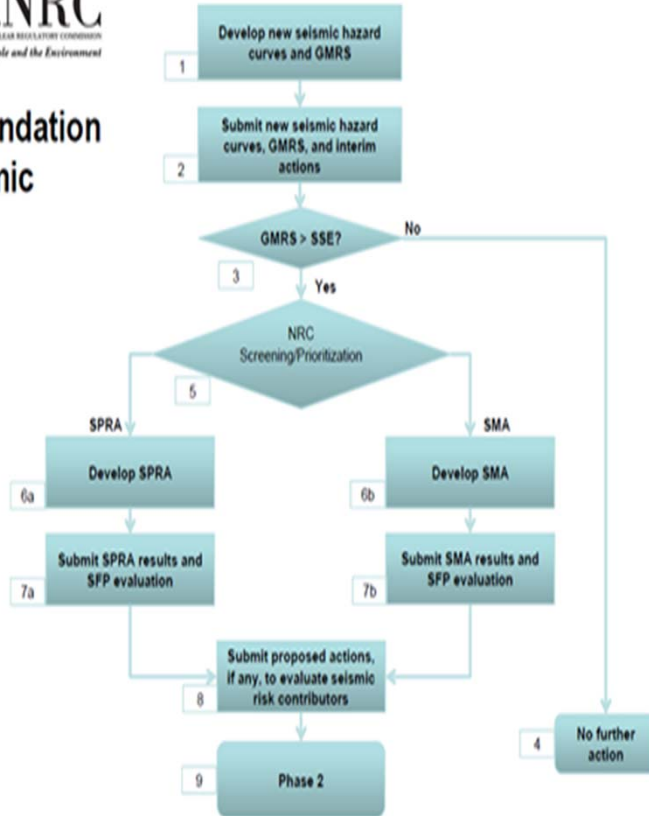


- PSHAに関する検討はTI-Team(technical Integrator Team)により行われる。
- 検討は3回のワークショップとワークショップ間に適宜開催されるワークミーティングでの議論で進められる。
- 全検討内容、過程はPPRP(Participatory Peer Review Panel)によりレビューされる。

米国におけるSSHAC検討事例とその取り扱い



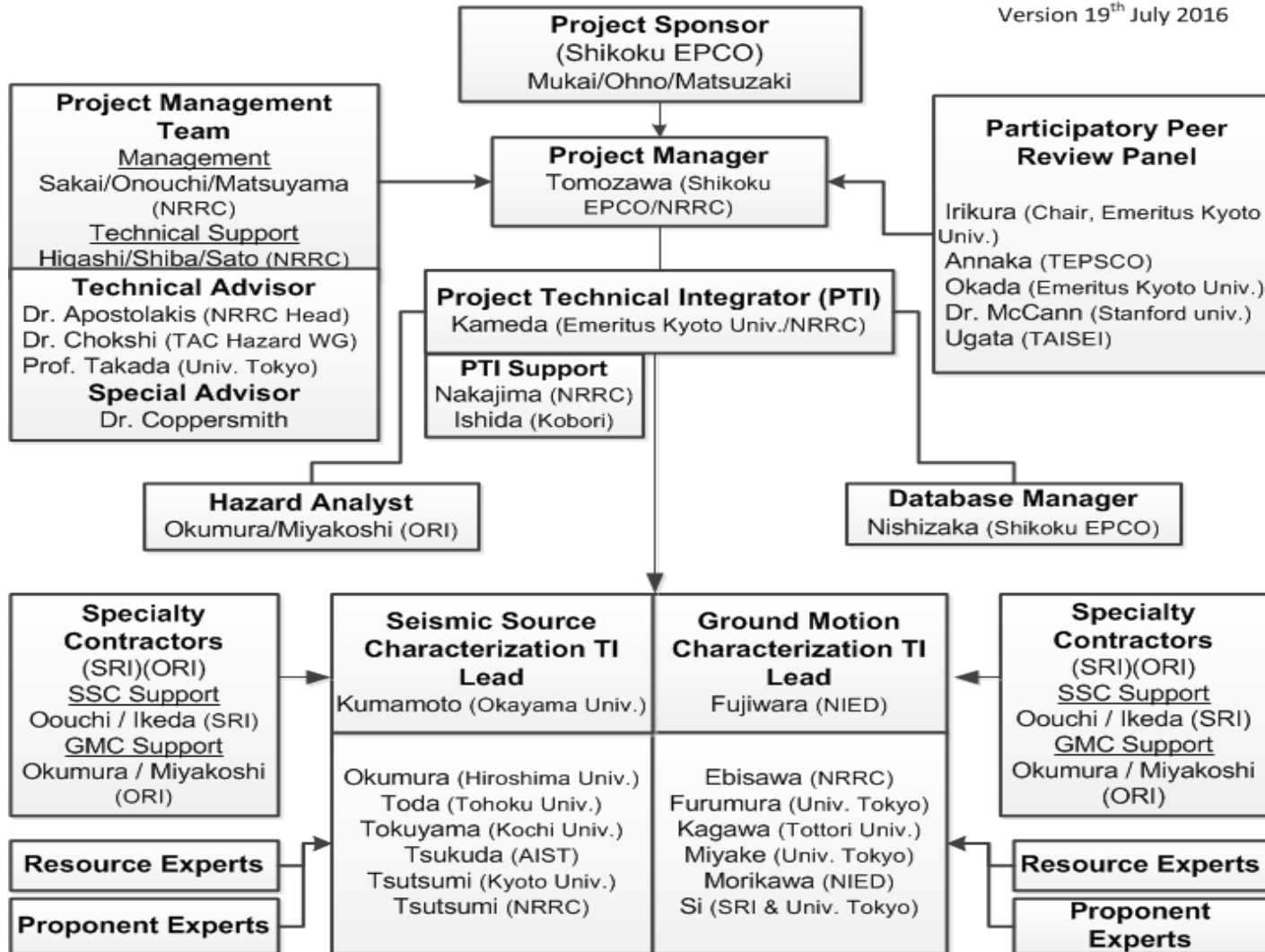
Recommendation 2.1: Seismic



米国以外に、スイス、南アフリカでSSHAC Level3-4を実施済、現在、トルコ、スペイン、台湾等でもSSHAC Level3 を実施中。ただし、米国を含め多くの国では、国内複数(全)プラントを対象としてSSHACが実施されているのが一般的。

Current Status of Ikata SSHAC Project/Organization Structure

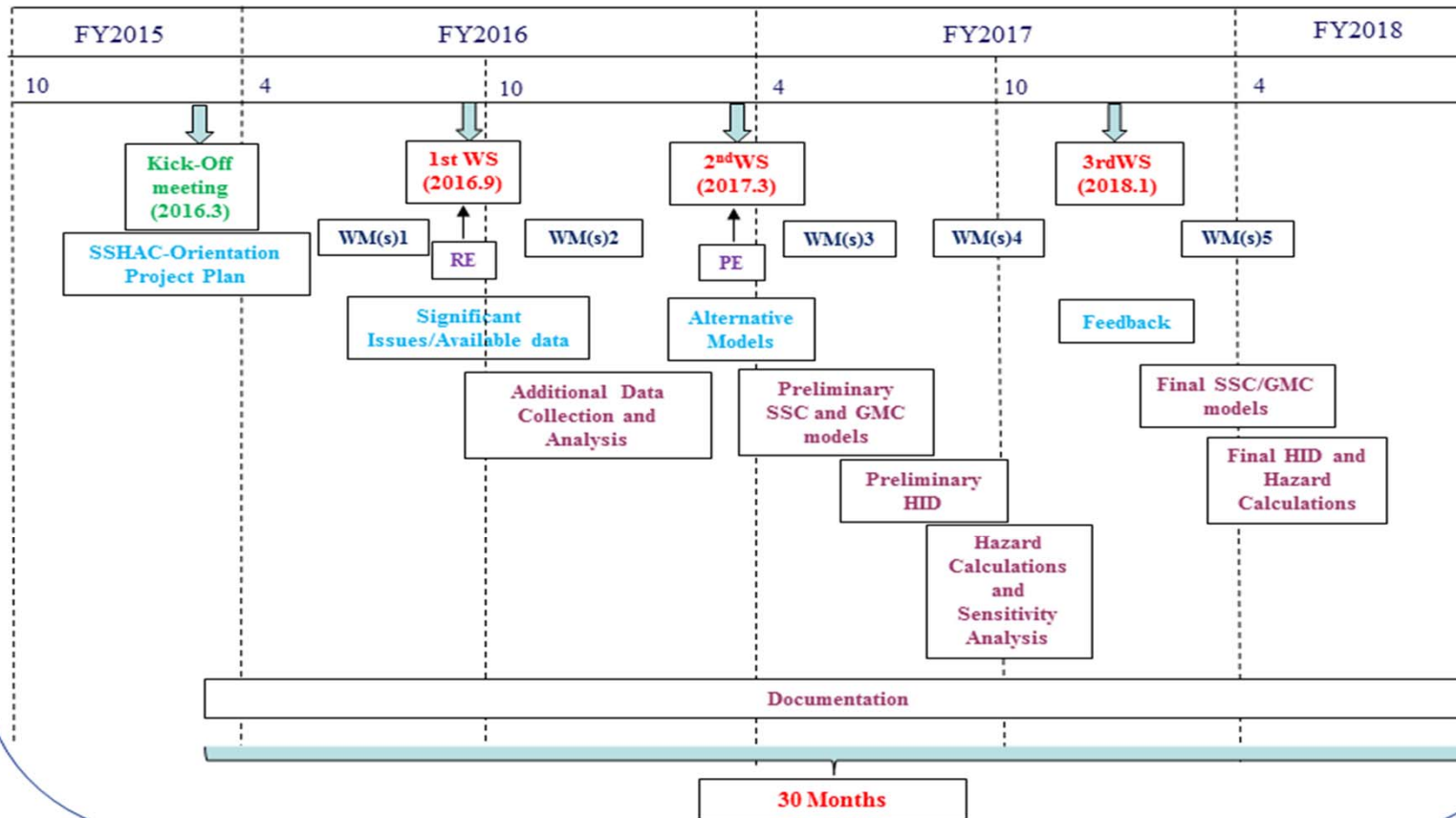
Version 19th July 2016



Current Status of Ikata SSHAC Project/Project Schedule

Nuclear Risk Research Center

Revised Schedule



For your Information

電中研報告
確率論的地震動ハザード評価の高度化に関する調査・分析
－米国SSHACガイドラインの適用に向けて－

<http://criepi.denken.or.jp/jp/kenkikaku/report/detail/O15008.html>